

平成22年度

事業計画書

財団法人 日本ボールルームダンス連盟

## 平成22年度

# 基本方針

財団法人日本ボールルームダンス連盟は設立より18年をむかえ、わが国のボールルームダンスの普及と振興に努めてきた実績を踏まえ、これまで培ってきた経験を生かし事業に邁進する。公益財団法人を目指し、従来までの制度、運営や考えにとらわれることなく設立時の初心に立ち戻り、取組む思い切った改革を進めることが求められており、そのためには会員が一丸となって取組み、わが国のボールルームダンス界の主導的立場を堅持する。

1. ボールルームダンスが生涯スポーツとして地域社会との関係を深め、多くの国民に親しまれるための普及啓蒙活動を図る。
2. 競技スポーツとして国際競技力の向上を目指しアスリートの育成を図る。
3. 指導者養成事業の推進と、指導員資格制度の更なる充実を図る。
4. 学校教育へ普及するため、授業化に向けての実践、研究・開発を行うとともに、行政並びに教育関係機関及び団体との積極的な連携を図る。
5. 公益法人移行申請に向けた具体的準備を進める。

以上の方針に則り、目的実現に向けての諸事業に取組み、計画立案し実行する。

以上

## 運営委員会事業計画

### 【公益目的事業】

#### ■公益財団法人認定に係わる事業区分：「競技会」

#### ■現寄附行為の（事業）第4条「（1）ボールルームダンス競技の普及及び指導」及び「（3）ボールルームダンスに関する全国的及び国際的競技会の開催並びにその他競技会の開催、認定及び公認」

予算書事業活動支出番号：③-1

#### 1. 第31回／2010年日本インターナショナルダンス選手権大会

- (1) 目的 国内外のトップクラスを交えボールルームダンスのレベルアップを図ると共に、健全なる室内スポーツとしてわが国のボールルームダンスの普及と発展を推進する。
- (2) 対象 J B D F 登録選手、外国人選手、他団体選抜選手、一般ダンス愛好者
- (3) 募集方法 各総局・支局・総局プロ選手会・ジュニアスクール開講教室、他団体等に大会要項を送付する。また、会報誌及びホームページによる広報を行う。
- (4) 開催期日 平成22年6月12日（土）13日（日）
- (5) 会場 日本武道館大ホール
- (6) 内容 海外のトップ選手及び著名審査員を招聘し、プロフェッショナル部門とアマチュア部門の本選以外に、グラウンドシニア選手権、全日本シニア選手権、ジュニア競技会、ジュブナイル競技会を行う。
- (7) 期待される成果 国際競技会を通してボールルームダンスの技術の向上とアスリート育成及び国際親善に役立つと共に、国内のボールルームダンスの普及並びに振興に寄与すること。
- (8) 特記事項 NHKの放映及びNHK杯の授与を予定

予算書事業活動支出番号：①-9

#### 2. ジャパン・ジュニア・ダンス・フェスティバル2010

- (1) 目的 ボールルームダンスの楽しさを理解してもらうと共に、青少年の心身の健全な発達に資することを目的とし、併せてボールルームダンスの普及促進に寄与する。
- (2) 対象 全国の小学生・中学生・高校生
- (3) 募集方法 各総局・支局・認定教室・ジュニアスクール開講教室等に大会要項を送付する。また、会報誌及びホームページによる広報を行う。
- (4) 開催期日 平成22年7月31日（土）
- (5) 会場 中央区立総合スポーツセンター
- (6) 内容 小学生低学年の部、小学生高学年の部、中学・高校生の部に分かれ、カップルではなくソロで踊るシャドーダンスで競技を行う。
- (7) 期待される成果 青少年の技術力の向上と健全育成に貢献すると共に、ボールルームダンスの底辺拡大及び普及に寄与すること。
- (8) 特記事項 ジュニアスクール開校責任者や地域青少年指導者及び保護者等を対象に「ジュニアダンス開発部からのお知らせ」の説明会も同時開催している。

予算書事業活動支出番号：①-20

#### 3. 平成22年度小・中・高校生ボールルームダンス・全日本チャンピオンシップ

◎スポーツ拠点づくり推進事業（総務省・文部科学省推進）認定スポーツ大会

- (1) 目的 総務省と文部科学省が推進する「スポーツ拠点づくり事業」の選定を受け、青

少年の競技力向上と心身の健全育成の推進及び、スポーツの振興と地域の活性化に寄与する。

- (2) 対 象 全国の未就学児・小学生・中学生・高校生
- (3) 募集方法 各総局・支局・認定教室・ジュニアスクール開講教室、各都道府県教育委員会義務教育担当課及び高等学校担当課等に大会要項を送付する。また、会報誌及びホームページによる広報を行う。
- (4) 開催期日 平成22年7月31日（土）8月1日（日）
- (5) 会 場 中央区立総合スポーツセンター
- (6) 内 容 未就学の部・小学生低学年の部・小学生高学年の部・中学生の部・高校生の部に分かれ、男女カップル及び女子同士カップルの2部門において競技を行う。
- (7) 期待される成果 青少年の競技力の向上と心身の健全育成並びにアスリート育成に寄与すると共に、国内でのボールルームダンスの認知及び底辺拡大を推進する。
- (8) 特記事項 財団法人地域活性化センターの「スポーツ拠点づくり推進事業（総務省と文部科学省が推進する事業）」の支援及び東京都中央区の協力を得て実施する。

予算書事業活動支出番号：③-3

#### 4. 第9回全国国民スポーツダンスフェスティバル2010

- (1) 目 的 国民体育大会開催県での実施により各地区のダンス文化の活性化並びに底辺拡大を図ると共に、わが国のボールルームダンスの普及と発展を推進する。
- (2) 対 象 J B D F 登録選手、一般ダンス愛好者
- (3) 募集方法 各総局・支局・総局プロ選手会に大会要項を送付する。また、会報誌及びホームページによる広報を行う。
- (4) 開催期日 平成22年9月4日（土）5日（日）
- (5) 会 場 千葉ポートアリーナ（千葉県千葉市）
- (6) 内 容 全国プロフェッショナル選手権と全国アマチュア選手権（個人戦）及び、都道府県代表選手（プロ・アマ混合）による都道府県対抗チームマッチ選手権を行う。
- (7) 期待される成果 都道府県対抗によるチーム戦を行うことにより、郷土への意識の高揚及び選手間の交流促進に役立つと共に、各県を持ち回りで開催することにより、各地区でのボールルームダンスの活性化と普及促進に寄与すること。
- (8) 特記事項 主管として東部総局千葉県支局が行う。

予算書事業活動支出番号：③-2

#### 5. 2010年全日本10ダンス選手権大会

- (1) 目 的 国内のトップクラスを交えボールルームダンスのレベルアップを図ると共に、健全な室内スポーツとしてわが国のボールルームダンスの普及と発展を推進する。
- (2) 対 象 J B D F 登録選手、一般ダンス愛好者
- (3) 募集方法 各総局・支局・総局プロ選手会に大会要項を送付する。また、会報誌及びホームページによる広報を行う。
- (4) 開催期日 平成22年10月3日（日）
- (5) 会 場 静岡県コンベンションアーツセンター（グランシップ）
- (6) 内 容 スタンダード部門5種目・ラテンアメリカン部門5種目の計10種目で競われる10ダンスの他に、ジャパン・スタンダードトロフィー及びジャパン・ラテンアメリカントロフィーを行う。

- (7) 期待される成果 競技会を通してボールルームダンスの技術の向上とアスリート育成の推進及び、国内のボールルームダンスの普及並びに振興に寄与すること。
- (8) 特記事項 中部総局静岡県支局と連携しながら実施する。

予算書事業活動支出番号：①-23

## 6. ドーピング検査事業

### ◎スポーツ振興くじ（toto）助成事業

- (1) 目的 選手の競技力の向上の一環としてドーピング検査を実施することで、スポーツとしての価値及び競技の公平性、さらには選手の健康を守ることを目的とすると共に、健全なる屋内スポーツとしての確立に寄与する。
- (2) 対象 JBDFプロフェッショナルダンス選手権大会出場選手
- (3) 開催期日 平成22年10月16日（土）17日（日）
- (4) 会場 日本ガイシスポーツプラザ第2競技場（愛知県名古屋市）
- (5) 内容 財団法人日本アンチ・ドーピング機構と連携し、独立行政法人日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ（toto）の助成を受け、ドーピング検査を実施する。
- (6) 期待される成果 選手並びに会員等のアンチ・ドーピングに対する理解を高めると共に、健全なる屋内スポーツとして確立することにより、ボールルームダンスの普及促進に寄与すること。
- (7) 特記事項 本連盟は、財団法人日本アンチ・ドーピング機構の加盟団体であるため、世界ドーピング防止規程及び日本ドーピング防止規程に従い、必然的にドーピング・コントロールの実施に対する責任を担うこととなっている。

## 7. その他競技会（総局主管・関係団体主催）

- (1) **2010年JBDFプロフェッショナルダンス選手権大会  
第60回全日本アマチュアダンス選手権大会**  
開催日：平成22年10月16日（土）17日（日）  
場所：日本ガイシスポーツプラザ第2競技場（愛知県名古屋市）  
主管：中部総局
- (2) **2011スーパージャパンカップダンス  
全日本セグエ選手権大会・全日本選抜ダンス選手権大会**  
開催日：平成23年3月5日（土）・6日（日）  
場所：幕張メッセ・イベントホール  
主管：東部総局
- (3) **第11回プロフェッショナル統一全日本ダンス選手権大会**  
開催日：平成22年11月3日（水・祝）  
場所：グランドプリンスホテル新高輪「飛天」  
主催：日本プロダンス協議会（JNC PD）

■公益財団法人認定に係わる事業区分：「講座、セミナー、育成」

■現寄附行為の（事業）第4条「（1）ボールルームダンス競技の普及及び指導」及び「（6）ボールルームダンスに関する研修会、講習会の開催」

予算書事業活動支出番号：①-13

## 1. ナショナルチーム選手育成事業（ナショナルチーム強化講習会）

- (1) 目的 選手の技術力・競技力の強化育成を図ることを目的とし、併せてボールルームダンスの普及促進に寄与する。
- (2) 対象 各年代（各部門）別のセミファイナリスト以上を中心に、全国の小学生・中学生・高校生・大学生及びJ B D F 登録選手
- (3) 募集方法 各年代（部門）のセミファイナリスト以上及び、各総局・支局・ジュニアスクール開講教室、学生連盟等に開催要項を送付する。また、会報誌及びホームページによる広報を行う。
- (4) 開催期日（予定）  
第1回：平成22年5月 3日（月）  
第2回：平成22年8月22日（日）  
第3回：平成23年2月20日（日）
- (5) 会場 各回とも検討中
- (6) 内容 各年代（部門）のセミファイナリスト以上及び、ボールルームダンスの技術向上を志している青少年を年代（部門）別に分け、それぞれのレベルにあったダンスの技術向上に必要な運動要素やテクニックについての講習会を行う。
- (7) 期待される成果 技術力・競技力の向上とアスリート育成に貢献し、我が国のボールルームダンスのレベルアップを図ると共に、ボールルームダンスの普及促進に寄与すること。
- (8) 特記事項 平成16年度から20年度までは、SSFスポーツエイド（笹川スポーツ財団）の助成金を受けていた。

予算書事業活動支出番号：①-10

## 2. 第11回コンgres

- (1) 目的 トップクラスの選手をはじめ、優秀なトレーナーやコーチを育てることを目的とし、併せてボールルームダンスの普及促進に寄与する。
- (2) 対象 J B D F 会員・審査員・登録選手
- (3) 募集方法 各総局・支局・総局プロ選手会・技術団体、東部総局管内審査員、東京・千葉・神奈川の正会員及び登録会員に開催案内を送付する。また、会報誌及びホームページによる広報を行う。
- (4) 開催期日 平成23年3月4日（金）
- (5) 会場 幕張メッセ・国際会議場
- (6) 内容 講師として、海外からチャンピオンクラスの元選手や、国内からダンス以外の様々なジャンルより専門家を迎え、違った角度からのダンスに役立つ幅広い知識やダンス技術についての講習会を行う。
- (7) 期待される成果 アスリート及びトレーナーやコーチの育成に貢献すると共に、ボールルームダンスの普及促進に寄与すること。
- (8) 特記事項 平成16年度から20年度までは、スポーツ振興基金（独立行政法人日本スポーツ振興センター）の助成金を受けていた。

予算書事業活動支出番号：①-8

## 3. ジュニアダンス開発事業

- (1) 目的 青少年の情操教育の一環及びボールルームダンスの底辺拡大を目的として全国各地にジュニアスクールを展開し、その開講教室に対し支援や助言を行うと共に、併せてボールルームダンスの普及促進に寄与する。
- (2) 対象 ジュニアスクールの対象は全国の未就学児・小学生・中学生  
支援の対象はジュニアスクール開講教室
- (3) 募集方法 ホームページによる広報等

- (4) 開催期日 ジュニアスクールは各会場により異なる
- (5) 会 場 ジュニアスクールは全国の各教室や公民館等で開催（現在74教室）
- (6) 内 容 ジュニアスクールは、1回につき60分～90分行い、13回を1クールとし年間3クール行うこととなっている。そのジュニアスクール開講教室に対し、参加人数に応じて〔①出席カードとシール、②各クールの終了時に渡す終了バッジ、③全クール修了者に渡す終了証(楯)〕を作成し送付する。また、1回の開催につき500円の交通費の補助を行う。
- (7) 期待される成果 青少年の技術力の向上と健全育成に貢献すると共に、各地区でのボールルームダンスの活性化及び底辺拡大に寄与すること。
- (8) 特記事項 日頃の成果を試す機会および目標や達成感を与えることを目的として、バッジ・テストも実施している。

## ■公益財団法人認定に係わる事業区分：「自主公演」

### ■現寄附行為の（事業）第4条「(1) ボールルームダンス競技の普及及び指導」

予算書事業活動支出番号：①-7

#### 1. 第22回全国生涯学習フェスティバル・まなびピア高知2010

##### (ダンス・マイライフ・フェスティバル in 高知)

- (1) 目 的 生涯スポーツとしてのダンス文化の普及および、全国生涯学習フェスティバル開催県での実施によりボールルームダンスが生活文化として地域に根付くことを目的とする。
- (2) 対 象 JBDF登録選手、一般ダンス愛好者
- (3) 募集方法 開催県内のダンス教室を中心に大会要項等を送付する。また、会報誌及びホームページによる広報を行う。
- (4) 開催期日 平成22年11月21日（日）
- (5) 会 場 高知県立県民体育館（高知市）
- (6) 内 容 一般参加型のダンスタイムやプロのフォーメーション、アマチュアエキシビジョンコンペ、シニア競技会、ジュニア・ジュブナイル競技会、車いすダンス、トッププロによるデモンストレーションなど多種多様な内容で行う。
- (7) 期待される成果 一般参加型のダンスタイムや多種多様な内容を盛り込むことにより、生涯スポーツとしてのダンス文化の普及に貢献すると共に、各県持ち回りで開催することにより、各地区でのボールルームダンスの活性化及び底辺拡大に寄与すること。
- (8) 特記事項 財団法人日本余暇文化振興会と共に主催し、主管として西部総局高知県支局が行う。

予算書事業活動支出番号：①-14

#### 2. 2011スーパージャパンカップ前夜祭・ダンスマイライフ大舞踏会

- (1) 目 的 生活文化としてのダンス文化の普及および、国内のボールルームダンスの振興に寄与することを目的とする。
- (2) 対 象 JBDF会員、一般ダンス愛好者
- (3) 募集方法 各総局、東部総局管内の支局及び教室、関東管内地域協会にチラシ及び無料入場券を配布する。また、会報誌及びホームページによる広報を行う。
- (4) 開催期日 平成23年3月4日（金）
- (5) 会 場 幕張メッセ・イベントホール

- (6) 内 容 一般参加型のダンスタイムを中心に、ソロダンス講習会や車いすダンスフォーメーション、トッププロによるデモンストレーションなどを行う。
- (7) 期待される成果 一般参加型のダンスタイムにより、生活文化としてのダンスの活性化及び底辺拡大に貢献すると共に、国内でのボールルームダンスの認知及び普及促進に寄与すること。
- (8) 特記事項 関東管内1都6県の地域協会が中心となって運営する。

## ■公益財団法人認定に係わる事業区分：「体験活動等」

### ■現寄附行為の（事業）第4条「(1) ボールルームダンス競技の普及及び指導」

予算書事業活動支出番号：①-12

#### 1. 全国地域協会促進事業

- (1) 目 的 生涯スポーツ・生活文化としてのダンスの普及を目的として、各都道府県地域協会がダンスを経験したことのない一般の人達も体験・参加できるようなイベント等を開催し、すそ野を広げると共に地域協会の活性化を図り、併せてボールルームダンスの普及促進に寄与する。
- (2) 参加対象 イベント等に参加する対象は、一般ダンス愛好者及びダンスを経験したことのない一般の老若男女。
- (3) イベント名 各都道府県の地域の実情に応じて当該地域協会が定める。
- (4) 開催期日 各都道府県地域協会が定める。
- (5) 会 場 各都道府県地域協会が定める。
- (6) 内 容 各都道府県地域協会において企画された、ダンスを経験したことのない一般の人達も気楽に体験できるような一般参加型のイベント等の事業を応募の対象とする。
- (7) 応募方法 別途定める企画書・予算書等を本部へ提出する。本部において、提出された企画書・予算書等が事業要項の趣旨に沿っているか審査し、審査の通った事業に対し支援する。
- (8) 支援対象 地域協会の普及活動等。
- (9) 終了報告 各都道府県地域協会は、事業終了後に終了報告書・決算書等を本部へ提出する。
- (10) 期待される成果 各都道府県地域協会において一般参加型のイベント等を開催することにより、地域協会の活性化に繋がると共に、各地区での生涯スポーツ・生活文化としてのダンスの普及促進および底辺拡大に寄与すること。

## ■その他

### 1. 会議関係

- (1) 運営委員会
- (2) 総務委員会
- (3) 部長会議
- (4) 競技会企画推進部・競技ダンス普及促進部・競技部合同会議
- (5) 全国競技部会議
- (6) 全国渉外部会議
- (7) アンチ・ドーピング委員会
- (8) 競技事業本部
  - 競技会企画推進部・競技ダンス普及促進部・競技部・アンチドーピング促進部・事業部・広報宣伝部・渉外部

- (9) 普及事業本部  
     全国地域協会促進部・全国アスリート協会促進部・ダンスマイライフ推進部・普及促進部・ナショナルチーム選手育成部・ジュニアダンス開発部・コンGRES推進部・事業開発部
- (10) マーケティング対策部
- (11) 総務部
- (12) 経理部

## 資格審議委員会事業計画

### 【公益目的事業】

#### 1. 指導者養成事業

- 公益財団法人認定に係る事業区分：「資格付与」
- 現寄付行為の「(事業)第4条の(4) ボールルームに関する指導員及び審査員の養成並びに認定制度の実施」

予算書事業活動支出番号：①-1

#### (1) 資格認定事業

- (1) 目的 不特定多数の一般の方に正しいボールルームダンスを広めるために、講習会及び認定試験によって指導者を養成・育成することを目的とする
- (2) 対象
  - ①アマチュアの指導者である地域指導員5級～1級の講習及び認定試験を行なう。
  - ②プロの商業スポーツ施設インストラクター5～1級の講習及び認定試験を行なう。
  - ③講師3級～1級・試験委員3～1級・採点管理者資格等の試験を開催し資格を認定する。
- (3) 募集方法 試験開催情報は常にホームページにアップし、会員及び不特定多数の一般の方に周知する。
- (4) 開催期日 全国各地において、それぞれ年に1回以上の開催を予定している。
- (5) 会場 公共施設を使用して行なう。
- (6) 内容
  - ①は各県支局が開催し、講習を行なってから約1ヵ月後に試験を行なう。5級は不特定多数の一般から指導者になりたい方を募集し、級が上がるごとに高度な内容の試験になる。
  - ②はプロ・ダンス・インストラクター資格所持者を対象に各県プロ・ダンス・インストラクター協会が開催し、講習を行い約1ヵ月後に試験を行なう。級が上がるごとに高度な内容の試験になる。(①・②は、実技試験と筆記試験を行なう。)
  - ③講師・試験委員はそれぞれ3～1級の資格があり講習と面接試験を行なう。採点管理試験は初級と上級があり、講習を行なってから約1ヵ月後に筆記試験を行なう。

※各資格の1級の資格試験については、年に1度本部にて実施することになっている。
- (7) 期待される成果 この事業を行なうことにより優秀な指導者を養成し、日本のボールルームダンス技術の向上を目指す。又優秀な地域指導員を養成し、ボランティアで公共の場所等で多くの人に正しいボールルームダンスの普及を目指す。

- 公益財団法人認定に係る事業区分：「講座、セミナー、育成」
- 現寄付行為の「(事業)第4条の(6) ボールルームに関する研修会、講習会の開催」

予算書事業活動支出番号：①-1

## (2) 定期研修会

- (1) 目的 アマチュア地域指導員及び、プロ商業インストラクターの会員に、年に1回最新のダンス技術の講習を行い、日本全国の指導者の指導技術力の向上を目指す。
- (2) 対象 会員
- (3) 募集方法 ホームページ、会員宛開催通知
- (4) 開催期日 各県にて年に1度開催
- (5) 会場 公共施設を使用する。
- (6) 内容 該当年度に行なわれたサマーセミナーの講習を基に行われる。
- (7) 期待される成果 日本全国で同じ内容の講習会を開催することにより、全国的に技術力の地域格差を解消できている。

### ■ 公益財団法人認定に係る事業区分：「技術開発、研究開発」

### ■ 現寄付行為の「(事業)第4条の(11)ボールルームに関する出版物の刊行」

予算書事業活動支出番号：②-1

## (3) 資格受験用教材頒布事業

- (1) 目的 試験用の資料、会員が指導に必要な教本・教材の製作
- (2) 対象 会員及び、正式なボールルームダンスを学びたい不特定多数の一般の方
- (3) 内容 試験問題・試験問題集・教本・教材DVD等
- (4) 期待される成果 正しいボールルームダンスを広める共に、優秀な指導者を育成している。

### ■ 公益財団法人認定に係る事業区分：「資格付与」

### ■ 現寄付行為の「(事業)第4条の(4)ボールルームに関する指導員及び審査員の養成並びに認定制度の実施」

※予算書事業活動支出番号：①-2

## 2. プロ・ダンス・インストラクター試験事業

- (1) 目的 国家公安委員会より風俗営業法からの適用除外を受けられる指導者を養成できる特定講習団体の指定を受けて、認定講習及び考査・認定試験を年に2回国家公安委員会指導の下全国9ブロックにおいて開催する事業。
- (2) 対象 プロ・ダンス・インストラクター資格を取りたいアマチュアの指導員及び不特定多数の一般の方
- (3) 募集方法 ホームページ及び一般ダンス雑誌にて公示を行い、不特定多数の一般から受験者を募っている。
- (4) 開催期日 年に2回4月の第4金曜日と10月の第4金曜日に行なわれている。平成22年度は第23回が4月23日、第24回の10月が10月22日の開催となる。
- (5) 会場 公共施設を使用し、全国9ブロックで行う。
- (6) 内容 講習会と試験からなり、試験は実技試験と筆記試験を行なう。風俗営業法からの除外指定を受けているので、筆記試験にはダンス教室の自主規制・憲法・一般常識・エチケット及びマナーの項目もある。本部の試験管理委員会から派遣された委員の下で、全国同時に開催している。
- (7) 期待される成果 現在でもボールルームダンスの教室を経営するためには、風俗営業法の許可が必要である。しかし、プロ・ダンス・インストラクター試験に合格するこ

とで、風俗営業法からの適用の除外が受けられ、又ダンス技術や教授法ばかりでなく、財団の教室経営における自主規制案や遵法精神も含めて、周知徹底することができる。現在財団のプロの会員は7,500人余りになり、かつ、認定登録教室も1,500軒ほどになっている。

■ 公益財団法人認定に係る事業区分：「講座、セミナー、育成」

■ 現寄付行為の「(事業)第4条の(6) ボールルームに関する研修会、講習会の開催」

予算書事業活動支出番号：①-3

3. サマーセミナー事業

- (1) 目的 指導者を育成するための講師・試験委員を育成する事業で、正しいボールルームダンスを不特定多数の一般の方に広めるとともに、全国的に地域差のない、ダンス指導者のための講習ができる人材の育成を目指す。
- (2) 対象 会員・不特定多数の一般の方
- (3) 募集方法 会報誌とホームページに公示し参加者を募っている。
- (4) 開催期日 平成22年度は7月22日(木)・23日(金)を予定している。
- (5) 会場 ティアラこうとう「江東公会堂」(東京都江東区住吉2-28-36)
- (6) 内容 全日本チャンピオンの講習、新しいサマーセミナー・バリエーションの発表、今年度の定期研修会のテーマの講習、講師・試験委員のための講習等
- (7) 期待される成果 年に一度本部で開催し、チャンピオンから最新の踊り方や、本部講師陣による講習技術及び認定試験時における講習技術及び採点判断の方法等の講習を受けることにより、ボールルームダンス技術の全国均一化を目指している。各県支局・協会において年に1回開催される定期研修会には過去に本部から講師を派遣していたが、現在はその地域の指導者が講師を勤めるようになっている。

※特記事項 独立行政法人日本スポーツ振興センターに助成金の申請を行っている。

## 国際関係事業計画

### 【公益目的事業】

■ 公益財団法人認定に係る事業区分：「調査、資料収集」

■ 現寄付行為の「(事業)第4条(7) ボールルームダンス競技会を代表してボールルームダンスの国際組織への加盟」(8) ボールルームダンス競技の国際的競技会等への選手・役員等の派遣」に関する調査・研究」(9) ボールルームダンスに関する調査及び研究」

予算書事業活動支出番号：①-5

1. 国際渉外事業

- (1) 目的 常務理事会の諮問機関として国際委員会が設置され、国際問題や国際競技会等の情報収集、調査、研究を行うことを目的とする。
- (2) 内容 本連盟はJNC PD(国内プロ3団体で構成)を通してWDC(国際組織)へ加盟しており、世界選手権への選手、審査員の派遣、選手、審査員登録業務、国際会議への出席等の事業を行う。また、BDF I(Ballroom Dancers Federation International)の国際窓口として、英国を中心としたダンス事情等の把握に努

めている。その他、連盟独自の活動としてボールルームダンスの国際関係の構築、情報収集等を行い、JBDFの国際的地位の向上にも努めている。

また、一昨年に新たに本連盟へ団体加盟なったBDJを通して、IPDSC（世界プロフェッショナルダンススポーツ議会）やIDSF（国際ダンススポーツ連盟）等に関する情報収集等も行っていく。

予算書事業活動支出番号：①-6

## 2. 外国人招聘事業

- (1) 目的 外国人の招聘に係る査証申請の事務手続きを代行する。
- (2) 内容 総局や加盟技術団体が招聘する外国人の選手並びに審査員について、その査証申請に係る事務を代行するし、法務局東京入管への申請業務を行う。

## 広報関係事業計画

### 【公益目的事業】

- 公益財団法人認定に係わる事業区分：「広報、調査研究」
- 現寄付行為の「(事業)第4条(9) ボールルームダンスに関する調査・研究」
- 「(事業)第4条(11) ボールルームダンスに関する出版物の刊行」

予算書事業活動支出番号：①-4

## 1. 広報宣伝事業

### ◎機関誌発行

- (1) 目的 機関誌『ダンス・マイ・ライフ』は本連盟が行う平成22年度の諸事業をスムーズに進めるための情報を、全国の本連盟会員に正確に伝えることを最大の目的とする。また本誌を通して会員同士の情報交換を促し、その連携を強化する。併せて一般のダンス愛好者と一般社会へボールルームダンスの魅力や本連盟の活動を広報し、本連盟が目指すダンス文化創造の土台づくりと整備を進める。また本年度は、日本のダンス人口・年齢構成など、日本のダンス界の実像を把握するためのリサーチを進め、今後の活動に役立つ資料の整備も併せて進める。
- (2) 配布対象 本連盟会員と一般のダンス愛好者、教育関係者等。
- (3) 発行回数と発行部数 年間3回（5月、8月、12月）発行。発行部数は各15,000部（非売品）。
- (4) 内容
  - ①様々な普及イベント、全国の競技大会等の開催情報と結果報告。
  - ②指導者養成のための講座やセミナー、試験等の実施案内。
  - ③ジュニアダンスや車いすダンス等の活動紹介。
  - ④ボールルームダンスの技術や指導力の向上に役立つ企画記事。
  - ⑤トピックス、エッセイ、読者投稿。
  - ⑥ダンス人口等、日本のダンス愛好家像の把握のための基礎調査に向けて協力を要請する。
- (5) 期待される成果 平成22年度の活動計画に対して会員の理解が深まり協力体制が強化される。各イベントへの参加者の増加。また一般社会にボールルームダンスへの興味が喚起され、本連盟の活動への認知が進む。日本のダンス界の実態をつかみ、新たなクライアントの獲得や新規事業等の企画へつなげる。

## ◎ホームページ管理

- (1) 目的 平成 20 年 2 月中旬に大幅なリニューアルを行ってから丸 2 年。閲覧者はリニューアル前よりは大幅に増加したが、本年度は各ページ（データ）を整理して、より見易い形を目指す。情報更新は引き続きタイムリーに行い、英語版の充実を計り、本連盟の活動とボールルームダンスの魅力を世界へアピールする。また、事業計画や収支計算報告などの情報公開の窓口として活用する。
- (2) 対象、閲覧数 ダンス愛好者を中心とした世界の人々。平成 21 年度の閲覧者は 248,000 人（月平均 20,660 人）。
- (3) 内容
- ①本連盟の設立目的や役員、全国 5 総局をはじめとする加盟団体の所在地、リンク等、組織全体の概要（日本語と英語）。
  - ②運営委員会、資格審議委員会それぞれが行う様々な普及イベントやダンス競技大会、指導者養成のための講座やセミナー、試験等の実施要項と結果報告。
  - ③21 世紀ダンス文化普及振興室が進める学校キャラバン隊など、学校教育へのダンス普及の取組み及び、「ダンスの日」記念イベントの全国の開催情報の紹介。
  - ④全国の本連盟認可ダンススクールの一覧情報。
  - ⑤資格認定試験のための各種教材と普及活動での使用を想定した著作権フリーのダンス音楽 CD 等のネット販売。
- (4) 期待される成果 平成 22 年度の活動内容を会員及び一般のダンス愛好者にいち早く周知し、それによって各イベントへの参加者が増加。ダンスをはじめたい人へスクール情報等を提供し、インターネットユーザーの主力である若者層も意識してボールルームダンスの魅力をアピールすることで、ダンス愛好者の掘り起こしを進める。

予算書事業活動支出番号：①－15

## 2. ダンス資料収集保存事業

### ◎ 資料室

- (1) 目的 ボールルームダンスとそれに関連する音楽やスポーツ科学、身体に関する様々な書物と映像資料等を収集し、ボールルームダンスの普及と技術向上に向けた研究・調査等をサポートする。蔵書等資料の整理を進め、さらに利用者が使いやすい態勢を整える。
- (2) 対象、閲覧要項 本連盟会員及び一般。利用は無料。閲覧時間：平日午前 10 時～午後 6 時。土・日・祝日は休室。平成 21 年度の利用者は 13 人（短時間の閲覧者は含まず）。
- (3) 収蔵内容
- ①昭和初期から戦前にかけて出版された英国と日本のダンス技術書
  - ②戦後から現在までに日本や英国で出版されたダンス技術書
  - ③戦前、戦後に出されたダンス雑誌と現在も出されているダンス雑誌
  - ④ダンス史や評伝、アルゼンチンタンゴ等、ダンス関連書籍
  - ⑤音楽やスポーツ科学に関する書籍及び映像等の資料
- 主な所蔵は書籍約 250 冊、雑誌約 1500 冊。
- (4) 期待される成果 ボールルームダンス関係の著作は国会図書館を除くと、公立の図書館でもあまり所蔵していないので、ボールルームダンスをテーマに卒論や論文等を書く人などにとっては便利な存在となっている。他のダンス組織で図書資料室を設置しているところはなく、寄贈者も本資料室に集約できると思われる。平成 22 年度は予算内での新規購入に加え、全国の会員よりのダ

ンス関連書籍の寄贈（会報誌 64 号（平成 21 年 12 月 25 日発行）で寄贈を呼びかけた）もお願いしながら充実を図りたい。

## 21 世紀ダンス文化普及振興室事業計画

### 【公益目的事業】

■公益財団法人認定に係わる事業区分：「講座、セミナー、育成・資格付与」

■現寄付行為の「(事業) 第 4 条の (6) ボールルームダンスに関する研修会、講習会の開催」

予算書事業活動支出番号：①-17

#### 1. JBDF はじめてのボールルームダンス(社交ダンス)指導者養成講習会事業

～「教員免許状更新講習」文部科学省指定事業～（申請中）

～子どもゆめ基金（独立行政法人国立青少年教育振興機構）助成事業～（申請中）

- (1) 目的 学校教育及び「放課後子ども教室」、「学校支援地域本部事業」、「地域スポーツクラブ」等の社会教育で、学社連携による教育の場において多くの子ども達にボールルームダンスによる楽しい学びを体験させ、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育て、心身の健全な発達の助長を図るとともに、青少年から大人まで、その裾野を広げるボールルームダンスの指導者の養成を図る。
- (2) 後援 文部科学省、下記 (4) の開催地の都道府県・開催都市教育委員会
- (3) 講師 学校学習創造支援プロジェクト委員会委員
- (4) 対象 全国の幼・小・中・高等学校教員、特別支援学校教員、教員志望大学生、レクリエーション指導員、体育指導員及び地域スポーツクラブ等においてボールルームダンスの指導に関心のある一般の大人。
- (5) 募集方法 文部科学省ホームページ、都道府県・市町村教育委員会、ダンス指導者団体の機関誌、学校ダンス関係先生、当連盟ホームページ・機関誌、大学ダンス部及びダンス関係雑誌
- (6) 開催期日・開催都市
  - 【第 1 期】①平成 22 年 8 月 1 日（日）・2 日（月） 東京都中央区
  - ②平成 22 年 8 月 5 日（木）・6 日（金） 三重県津市
  - ③平成 22 年 8 月 9 日（月）・10 日（火） 青森県青森市
  - ④平成 22 年 8 月 12 日（木）・13 日（金） 北海道札幌市
  - ⑤平成 22 年 8 月 23 日（月）・24 日（火） 大阪府大阪市
  - ⑥平成 22 年 8 月 26 日（木）・27 日（金） 熊本県熊本市
  - 【第 2 期】①平成 22 年 10 月 23 日（土）・24 日（日） 三重県津市
  - ②平成 22 年 10 月 30 日（土）・31 日（日） 熊本県熊本市
  - ③平成 22 年 11 月 6 日（土）・7 日（日） 北海道札幌市
  - ④平成 22 年 11 月 27 日（土）・28 日（日） 青森県青森市
  - ⑤平成 22 年 12 月 4 日（土）・5 日（日） 大阪府池田市
  - ⑥平成 22 年 12 月 11 日（土）・12 日（日） 東京都中央区
- (7) 会場 北海道札幌市（リフレサッポロ）、青森県青森市（観光物産館アスパム）、東京都中央区（中央区立総合スポーツセンター）、三重県津市（三重県総合文化センター）、大阪府大阪市・池田市（ホテルメトロ The21、五月

- 山体育館)、熊本県熊本市(熊本県労働会館)
- (8) 内 容 講義(生涯学習とボールルームダンス等)、ダンス指導法、ダンス技術、模擬授業(グループ指導法、ダンスパーティー指導法)、実技試験
- (9) 期待される成果
- ①ダンスの裾野が広がり普及・振興につながる。
  - ②児童・生徒の人との係わりや健やかな体と豊かな心の育むなど発達課題の達成につながる。
  - ③新学習指導要領により、学校の授業でダンスの採り上げが加速化される。
- (10) 特記事項
- ①文部科学省「教員免許状更新講習」に認定されて開催する講習会であり、今年で2年目となる。
  - ②独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」に申請中

予算書事業活動支出番号：①-19

## 2. 学校学習創造支援講習会事業

- (1) 目 的 ボールルームダンスを児童・生徒に正しく普及指導するために、学校教育の理解、授業指導の際のカリキュラムの立て方及び集団学習指導の方法、指導技術の展開等、生徒が勤しみやすいボールルームダンスの入門編の指導法及び技術講習を通して学校教育におけるボールルームダンスの指導のあり方の一貫性を確立する。
- (2) 講 師 学校学習創造支援プロジェクト委員会委員
- (3) 対 象 全国のプロのボールルームダンス指導者
- (4) 募集方法 ダンス関係マガジン誌、JBDF ホームページ及び機関誌
- (5) 開催期日 平成23年1月24(月)
- (6) 会 場 中央区立総合スポーツセンター
- (7) 内 容 講義(学校学習とボールルームダンス等)、学校学習でのダンスの指導法及び模擬授業(グループ指導法、ダンスパーティー指導法)
- (8) 期待される成果
- ①学校学習支援のための指導内容が全国的に統一される。
  - ②指導者の資質の向上につながる。
  - ③学校学習の支援・指導に積極的に取り組む指導者が増える。

### ■公益財団法人認定に係わる事業区分：「研究開発」

### ■現寄付行為の「(事業)第4条の(9)ボールルームダンスに関する調査及び研究」

予算書事業活動支出番号：①-16

## 1. 学校学習創造支援プロジェクト委員会事業

### ～47都道府県支局学校学習プロジェクト委員会担当責任者による普及活動も含む～

- (1) 目 的 文部科学省の新学習指導要領で、中学校は平成24年4月から「ダンスと武道」が男女必修で全面実施になります。
- これらのことから、児童・生徒が生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育て健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するため、小・中・高等学校の学習指導要領を踏まえて、ボールルームダンスの授業化に向けて研究・実践を通して指導体系を構築するとともに、学習指導教材の研究開発及び指導者養成に努める。
- (2) 委 員 (学識委員) 笠原一也、佐伯年詩雄  
(学校委員) 堀口 宏、阿部武洋

(ダンス委員) 松村有希子、村澤武志、堀口さと子、背黒 誠、  
石塚紀子、島 輝子、村田恭子

- (3) 対 象 全国の小・中・高等学校モデル研究校の学校教員及び児童・生徒
- (4) 研究内容 学校学習におけるボールルームダンスの授業化研究
- (5) 研究期間 通年
- (6) 研究成果 ①「指導の手引書」  
②「実技指導解説書」(8種目)の作成、  
③「実技種目解説DVD」、「指導音楽集CD」の作成  
④「ボールルームダンス授業化研究事例集」の作成
- (7) 期待される成果  
①指導内容や指導方法が整理され体系化を図ることができる。  
②研究開発した成果を指導者養成講習会等での指導に反映できる。  
③児童・生徒にボールルームダンスの楽しさや人との係わりを直接的に伝えることができる。  
④47 都道府県支局学校学習プロジェクト委員会担当責任者の普及活動により、地域における学校学習が活性化する。

■公益財団法人認定に係わる事業区分：「キャンペーン、〇〇月間」

■現寄付行為の「(事業) 第4条の(13) その他この法人の目的を達成するために必要な事業」

予算書事業活動支出番号：①-18

1. 学校キャラバン隊事業

～笹川スポーツ財団(スポーツエイド)助成事業～(申請中)

- (1) 目 的 ボールルームダンスを生涯スポーツの基礎として、学校学習に普及・振興を図るため、多くの児童・生徒が「楽しさ」、「豊かさ」、「長年培われたマナー」が総合された世界共通の文化であるボールルームダンスの実際の踊りを見学・学習し学習意欲を喚起させる機会をつくることを目的として、学校へボールルームダンスのトップアスリート及び指導者を派遣し、模範演技と実技講習をする。
- (2) 後 援 文部科学省
- (3) 講 師 学校学習創造支援プロジェクト委員会ダンス委員
- (4) アスリート (予定)  
大竹 実・四本紀代美組、嶺岸昭志・嶺岸恭子組、大村淳毅・和田 恵組、市川 学・大島寿子組、中村俊彦・青柳朋子組
- (5) 対 象 全国の小・中・高等学校の児童・生徒
- (6) 募集方法 ダンス関係雑誌、JBDF ホームページ及び機関誌、学校ダンス関係先生
- (7) 開催期日 ①平成22年4月～8月中旬(募集期間)  
②平成22年8月下旬(派遣審査期間)  
③平成22年9月～平成23年3月(派遣期間)
- (8) 会 場 派遣校の体育館
- (9) 内 容 模範演技、ダンス講習
- (10) 期待される成果  
①学校キャラバン隊を通して児童・生徒のボールルームダンスへの関心が高められ、ボールルームダンスに取り組む児童・生徒が増え、裾野が広がる。  
②将来、アスリートを目指すきっかけ作りになる。

③ボールルームダンスに対して学校教員の理解が深められる。

(11) 特記事項 笹川スポーツ財団 SSF スポーツエイド助成金申請中

予算書事業活動支出番号：①-22

## 2. ダンスウィーク「ダンスの日」事業

- (1) 目的 「ダンスの日」を毎年11月29日に設定し、ボールルームダンス関係団体及び他のダンス団体と連携し、全国展開を通じてボールルームダンスを広く国民に浸透させ、生涯スポーツ、国民文化として根付かせるために、広範に亘る国民の老若男女を対象にダンスを楽しんでもらう機会をつくり、「いつでも、どこでも、いつまでも」楽しめるボールルームダンスの普及・振興及び認知度を高めるとともに、ダンス文化の活性化の推進に資する。
- (2) 対象 全国のダンス愛好者及び一般の子どもから大人までの老若男女
- (3) 募集方法 ポスターを作成し47都道府県及びダンス教室に配布、ダンス関係マガジン誌、JBDF ホームページ及び機関誌
- (4) 開催期日 平成22年11月29日を中心に前後1週間以内とするが、ただし、この期間以外に主催団体行事に合わせて実施することも可能である。
- (5) 会場 都道府県組織主催（公共施設）及びJBDF 認定登録教室（ダンス教室）
- (6) 内容 ダンスタイム、ダンス講習、模範演技、デモンストレーション等
- (7) 期待される成果
- ①ボールルームダンスの普及・振興につながる。
  - ②一般の多くの人々にボールルームダンスの認知度が高められる。
  - ③生涯スポーツの推進につながる。

### ■公益財団法人認定に係わる事業区分：「体験活動等」

### ■現寄付行為の「(事業)第4条の(13)その他この法人の目的を達成するために必要な事業」

予算書事業活動支出番号：①-21

## 1. 行政、学校、団体、産業界等との連携・協力事業

### ～ボールルームダンス体験活動の推進～

- (1) 目的 ボールルームダンスを生涯スポーツとして、各界各層の人々に体験してもらうため、各種の機関・団体等と連携を図り、求めに応じていつでも協力、対応できる体制をつくりボールルームダンスの普及・振興の促進に資する。
- (2) 講師 学校学習創造支援プロジェクト委員会ダンス委員
- (3) 対象 全国の各界各層の団体構成員等
- (4) 募集方法 JBDF ホームページ及び機関誌、学校ダンス関係先生、ダンス関係雑誌、主催する行政、学校、団体、産業界等による広報
- (5) 開催期日 通年
- (6) 会場 主催する行政、学校、団体等の会場
- (7) 内容 ダンス講習
- (8) 期待される成果
- ①体験を通して国際文化としてのボールルームダンスの理解を高める。
  - ②各種団体との連携・協力の促進につながる。
  - ③社会貢献の推進につながる。

以上

## 参考資料

### ※総局・支局等主要競技会

#### ◎北海道総局

- ※毎日杯・杉山杯争奪全道ダンス選手権大会 平成 22 年 4 月 11 日
- ※全道クラス別ダンス競技会小樽大会 平成 22 年 5 月 30 日
- ※北海道インターナショナルダンス選手権大会 平成 22 年 6 月 18 日
- ※北海道ボールルームダンスアスリート協会主催  
前夜祭・全道アマチュアダンス競技会 平成 22 年 6 月 17 日  
平成 22 年 7 月 18 日
- ※ドリーミーダンス競技会苫小牧大会 AC 級 平成 22 年 9 月 5 日
- ※道新スポーツ杯争奪北海道ダンス選手権大会 平成 22 年 10 月 10 日
- ※全道暮クラス別ダンス競技会 BD 級 平成 22 年 11 月 14 日

#### ◎東部総局

- ※東部日本ダンス選手権大会 平成 22 年 7 月 4 日
- ※アマ東部日本選手権 Jr・Jv 平成 22 年 11 月 7 日
- ※全関東ダンス選手権大会 平成 22 年 11 月 27 日  
同 平成 22 年 11 月 28 日
- ※スーパージャパンカップ 平成 23 年 3 月 5 日  
同 平成 23 年 3 月 6 日

#### ◎中部総局

- ※中部日本ダンス選手権大会(静岡) 平成 22 年 4 月 25 日
- ※名古屋インターナショナルダンス選手権大会 平成 22 年 6 月 16 日
- ※中部日本ダンス選手権大会(岐阜) 平成 22 年 9 月 26 日
- ※JBDF プロフェッショナルダンス選手権大会 平成 22 年 10 月 16 日  
第 60 回全日本アマチュアダンス選手権大会 平成 22 年 10 月 17 日

#### ◎西部総局

- ※JAL カップ争奪前期西部日本ダンス選手権大会 平成 22 年 4 月 29 日
- ※大阪インターナショナルダンス選手権大会 平成 22 年 6 月 19 日  
同 平成 22 年 6 月 20 日
- ※JAL カップ争奪後期西部日本ダンス選手権大会 平成 22 年 10 月 10 日
- ※レアード杯争奪ダンス選手権大会 平成 22 年 10 月 31 日
- ※JBDF 西部総局主催アマチュアダンス競技大会 平成 22 年 11 月 21 日

#### ◎九州総局

- ※全九州ダンス競技会・大分大会 平成 22 年 4 月 25 日
- ※九州インターナショナルダンス選手権大会 平成 22 年 6 月 22 日
- ※全九州ダンス選手権・熊本大会 平成 22 年 8 月 8 日
- ※全九州ダンス選手権・福岡大会 平成 22 年 9 月 19 日
- ※全九州ダンス選手権・山口大会 平成 22 年 10 月 24 日
- ※全九州ダンス選手権・佐賀大会 平成 22 年 11 月 21 日
- ※全九州ダンス選手権・長崎大会 平成 23 年 2 月 20 日